

待望の
最新刊

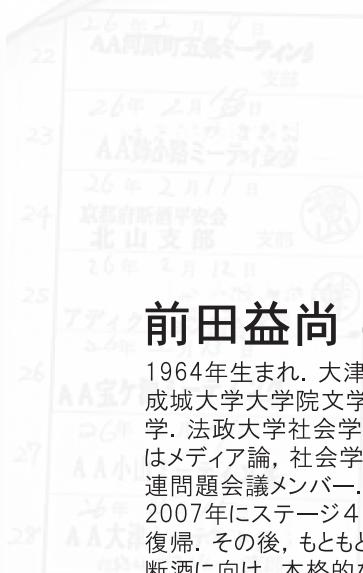
*Night of the Living Alcoholic
Dawn of the Alcoholic
Diary of the Alcoholic
Survival of the Alcoholic*

理屈で、デザインする酒のない人生
脱アルコールの哲学

なぜ、依存症になつたのか？
どうやつて回復したのか？
自助グループの役割とは？
著者自身の経験と分析をもとに、
依存症という病を受け入れ、
乗り越えるヒントを凝縮した、
待望の最新エッセイ。

定価 1,500円(税別)

ISBN 978-4-7710-3229-3



前田益尚 (近畿大学文芸学部教授)

1964年生まれ。大津市出身。滋賀県立膳所高校卒業。法政大学社会学部卒業。成城大学大学院文学研究科コミュニケーション学専攻博士後期課程単位取得退学。法政大学社会学部兼任講師、近畿大学文芸学部准教授を経て、現職。専門はメディア論、社会学。東大阪断酒会布施西支部 所属、東大阪市アルコール関連問題会議メンバー。

2007年にステージ4の下咽頭がんと診断されるも、奇跡的な手術を受け教壇へ復帰。その後、もともと患っていたアルコール依存症が悪化し、2013年緊急入院。断酒に向け、本格的な治療を開始。2019年4月で断酒5年を迎える。

主な著書に『楽天的闘病論』(2016年)、『大学というメディア論』(幻冬舎、2017年)、『マス・コミュニケーション単純化の論理』(2018年)など。

プロローグ

超病の発端、がん／赤くなる恐怖の毒素／難しいアルコール依存症の啓蒙法／アルコール依存症超克への取り組み／余談：道化としてのゾンビ像（案）

I （天国のような）地獄

誰にでもなる病／心を癒すアルコール／万能感の時代／良くも悪くも、巻き込む病／天国に一番近い病／みんな知らない脳の病気／最初のワーカーは誰だ？／回復につながる！ 最前線の野戦病院

II 回復（蘇り）

真横にいるケースワーカー／サバイバル集団／ポスト・アルコホリズムの構築（回路の上書き）／自助グループは、ハイスクール／酒は「命の恩人」の意味／贖罪のステップを踏んで／回復は、ゴールではない

III 成長（日常）

愉しみとしてのポスト・アルコホリズム／偏見を解く授業／

教育現場の最前線／断酒をデザインする／教壇のポスト・アルコホリズム／世間のポスト・アルコホリズム／逆風も、生きがいにできこそ、成長／成長も、ゴールではない

IV （達観を経て）超人の域へ

AIにはねれない依存症／AIに代わられるかもしれない支援者／メディアの思い込みを正す／影響力のある依存症者、募集！／模範解答では終わらせない／問題のあるメディア表現には、"CRAFT"に準じた対応を／そして、納得できる授業を／やめ続ける地平／やっぱり、みんな知らない否認の病／科学のゆくえ／そして、ボスアルの哲学を、AIが可視化できるか／ブレイクスルー

エピローグ

大学への提言／実業界への提言／それでも、最も危険な病気／未開の依存症／パラレルワールドを《選択》するすすめ